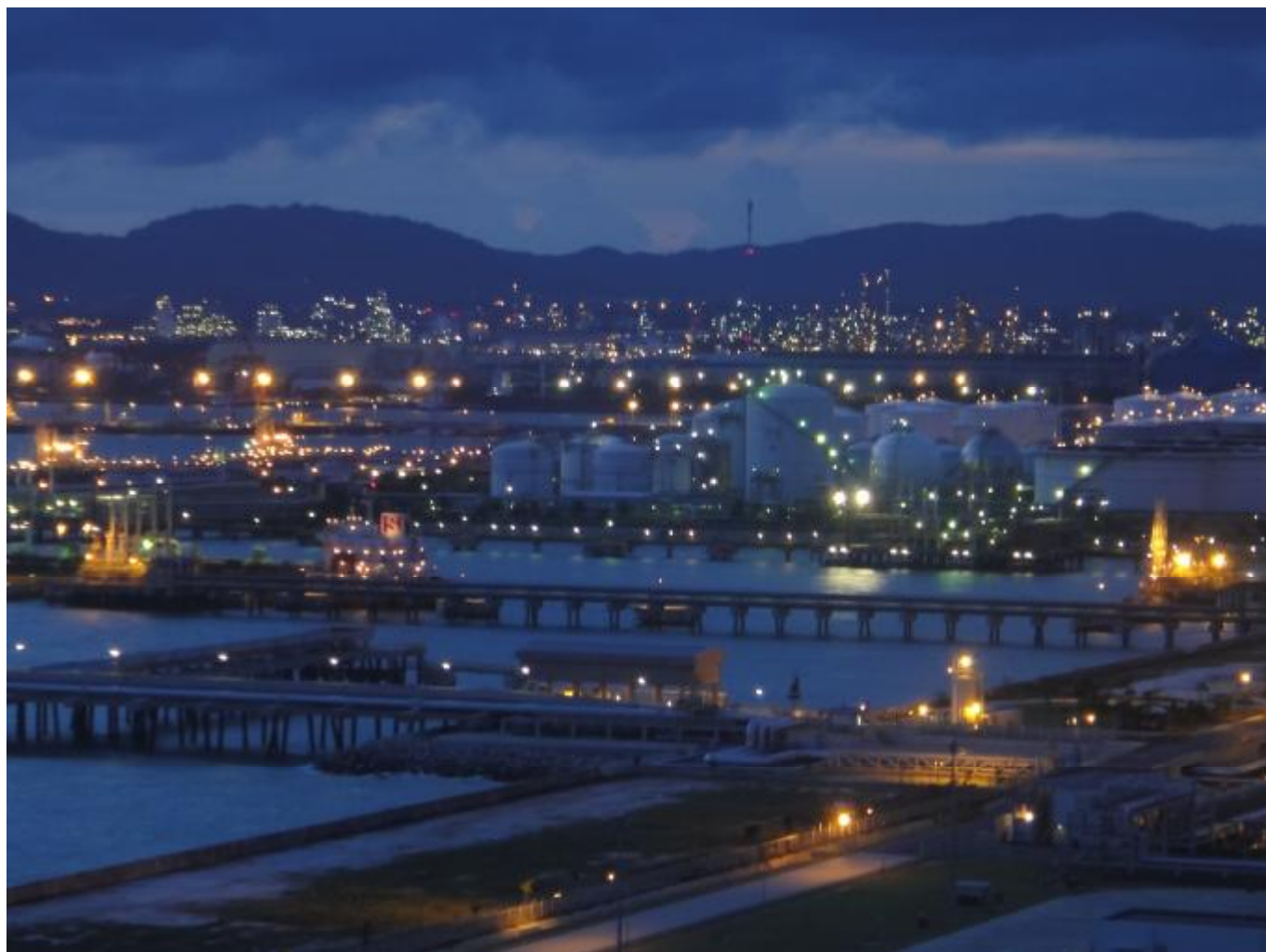




【日本の企業も多く進出している工業団地でも】

夕暮れ時になって、現場に行く用事があった。

用事を終え、タイ人の仲間を伴い、建物の最上階まで行ってみた。

発電所の最上階は、地上から60メートル余、待つこと暫し。

エレベーターのドアが開き、外に踏み出し、頭を左に向けて息を飲んだ。

こんな景色が、ここにあったのか。

空が暮れなずむほどに、工場群の明かりは輝きを増していく。

岸壁に停泊する船の間を縫い、いくつものボートが港内をせわしく行き交う。

ここは、マプタプット（Map Ta Phut）港、タイで有数の工業団地でもある。

そして、眠らない夜が、今、始まろうとしている。